

日本周産期・新生児医学会  
第37回 周産期学シンポジウム開催のご案内 (第1報)

(2018年2月14日現在)

テーマ：胎児診断から始める治療戦略

会長：白井規朗 (大阪母子医療センター小児外科主任部長)

会期：2019 (平成31) 年2月8日 (金), 9日 (土)

会場：大阪国際会議場

■2月8日 (金)

【プレコングレス】

1. 教育講演

胎児MRI診断の現状：何がどこまでわかるのか？

座長：西川正則 (大阪母子医療センター放射線科)

演者：宮崎 治 (国立成育医療研究センター放射線診療部)

2. 委員会報告

胎児診断に関する全国調査報告

座長：和田和子 (大阪母子医療センター新生児科)

演者：渡部晋一 (倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

米田徳子 (富山大学産婦人科)

3. 招待講演

Development of the artificial womb: Challenges and Milestones.

座長：白井規朗 (大阪母子医療センター小児外科)

演者：Emily Partridge MD, PhD (Division of General, Thoracic and Fetal Surgery,  
Children's Hospital of Philadelphia)

【懇親会】リーガロイヤルホテル「山楽」

■2月9日 (土)

周産期学シンポジウム：胎児診断から始める治療戦略

【午前の部】診断・トリアージ

座長：板倉敦夫 (順天堂大学産婦人科)

渡部晋一 (倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

【ランチョンセミナー】

【午後の部】治療

座長：早川昌弘 (名古屋大学総合周産期母子医療センター)

石井桂介 (大阪母子医療センター産科)

シンポジウム参加費：

会員および医療従事者 : 12,000円 (但、2月9日のみ参加10,000円)

大学院生, 看護師, 保健師および助産師 : 5,000円

学生, 初期研修医 : 無料

なお, 事前登録は行いません。当日, 会場での参加受付(現金での集金のみ)となります。

懇親会参加費：無料

事務局(連絡先)：運営事務局：株式会社日本旅行 西日本 MICE 営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

TEL 06-6342-0212 FAX 06-6342-0214

E-mail: sympo37@nta.co.jp